

令和 4 年度における「環境再生計画」に基づく県の取組内容等

1 自然再生

(1) 森林整備

「森林整備計画」に基づき、八戸市森林組合と引き続き連携し、樹木の生育状況の評価やつる植物の剪定等植栽地の管理を行っている。

【R4.8 八戸市森林組合による生育状況の評価】

「ハンノキ、ヤナギ、ヤシャブシなど、先駆樹種（森の形成初期段階に土の養分が少ない環境下でも生育し、やがて枯れて養分となる樹木）の生育が良い。葛（つる植物）は、樹木に覆いかぶさり日光を遮り、また、冬の降雪時に重みで樹木を潰すので刈り取りした方がよい。」

(2) 現場見学

県民等に対し、現場跡地の森林整備状況等を直接見ていただくため、現場見学の希望に対応している。

現場見学の周知として、県ホームページへの掲載のほか、前年度からは、県のメールマガジンに見学希望案内を掲載している。

【過去 3 年の見学者数】

区 分	R 2	R 3	R 4 (9月まで)
一般	1	3	1
教育機関	6	6 8	3
自治体（本県以外）	6	4	0
本県関係	2 0	1 0	9
計	3 3	8 5	1 3

2 地域振興

青森県の有効活用エリア（選別ヤード跡地）については、これまで岩手県との一体的な利活用の実現可能性を探るため、岩手県における跡地利活用の検討状況等を注視してきた。

岩手県では、昨年度から跡地を水素関連産業のモデル地とする可能性調査を行っており、その調査結果が本年 7 月に開催された岩手県の協議会で報告された（資料 3 - 2）。

昨年度の調査の結果、「太陽光発電による電力を売電しながら水素を製造する場合に、事業可能性有り」と、条件付きながら事業の実現可能性が示唆されたことから、岩手県では、これまでの実現可能性調査を終了し、今年度は事業導入調査を進めている。

本県としては、引き続き岩手県の検討状況等を注視しつつ、県独自での跡地利活用の方向性を含め、田子町と随時意見交換しながら検討していく。また、ウェブアーカイブによる利活用可能な土地情報の発信を継続する。

3 情報発信

(1) ウェブアーカイブの更新

植栽地の定点撮影写真や原状回復事業の記録等を速やかに更新する。

※アーカイブ年間アクセス件数（平成26年7月公開）

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
5,752	10,054	8,353	8,168	6,427	5,537	5,692	5,690

(2) 田子町立図書館における資料展示

現場来訪者や地域住民への資料展示を継続する。

(3) 浸出水処理施設撤去後の資料展示

浸出水処理施設の撤去に伴い、同施設に展示していたパネルについて、田子町と協議し、7月21日に上郷公民館に展示パネル8枚を移設した。また、残りの展示パネルについては、現場事務所に移設した。

(4) 事案紹介等DVDの貸し出し

これまでに作成した、事案の概要や青森県の取り組みの紹介（一般用・小学生用）、記録映像集（全11本）、協議会等のDVDの希望者への貸し出し（無料）を継続する。

4 浸出水処理施設撤去後に移設した展示パネルの状況

(1) 田子町立上郷公民館



(2) 現場事務所

